常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆一般会計補正予算

総務費の賦課徴収費について。システム改修の内容、効果は。

税、国民年金、国民健康保険や生活保護などの現行システムをマイナンバーのシステムと接続するための改修である。

今後については、対象事務であれば申請の際に所得証明書などの添付が省略できるようになる。

プライバシー保護については、法に定められた事務の範囲内でのみ利用することや、これまでの個人情報保護に加えて、個人番号の取り扱いへの配慮も図っていく。

歳入の県支出金、介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金について。今後も介護施設等の整備は必要になってくると思うが、今後の補助金の動向は。

現段階では先々のことは申し上げられないが、活用できるものは可能な範囲で活用していきたいと考えている。

賛成全員で可決

文教福祉常任委員会

◆学校給食センター整備運営事業契約の締結について

調理室、調理器具について、具体的に評価された点はどこか。

アレルギー対応を例にいうと、ガスではアレルゲンが飛散するおそれがあるため、電磁調理器を使用する提案があった。

厨房機器について他グループと比較して点数に5点の差があるのは何が違うのか。

一つの例を示すと、電解次亜水生成装置などの洗浄機器の設置が評価されたもの。

事業者選定結果に削減効果が2割程あると示されているが、導入可能性調査の際に示された数値と今回とで違いがあるが。

VFMについて示したもので公設公営の場合56億5000万円、PFIの場合45億2900万円で約20％の削減効果があり割引率4％を適用し現在価値換算したもので、今回の契約額約62億と比較しても約18％の削減効果がありPFIのメリットがあると確認している。

総合評価一般競争入札で選定したことは、この事業者が一番高い価値があると判断したものと考える、説明を。

提案の内容を最大限に発揮し効果を出すことが市にとってメリットになる。これは価格だけで判断できない。

賛成多数で可決

新学校給食センター　イメージ図

建設生活常任委員会

◆一般会計補正予算

地域密着型介護老人施設を平成27年4月開設を目指すとしているが、現在特養の待機者は重複も含め136人、今回の施設で29人入所してもまだ足りない、6期計画の中で新たな整備をすべきでは。

6期計画策定において新たな施設整備を図りたい。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

農業振興費で補助対象の規模、今後の申請に対する対応は。

規模が一番大きいのは鉄骨ハウス3棟で1476㎡。小さいものは24㎡。棟数では個人で3棟、再建に必要な額では概算も含め540万円。今後の申請については、平成26年度中に事業が完了し農業を継続する条件を満たせば対応していく。

ハウス使用（収穫）の有無、現に使用していて今後も使用する事が前提か。耐用年数の基準はあるのか。

農業の用に供している事、被害にあった時点での作物の有無を問うものではない、再建後も引き続き農業の用に供していれば対象となる。耐用年数の制限なし。

大雪により壊れたビニールハウス

下水道事業費減額の内容は。

福島第一原子力発電所の事故により発生した放射線被害調査の為放射線測定を職員が実施し、職員の時間外勤務の賠償金が東京電力より支払われたので、下水道事業特別会計が増額となり、一般会計からの繰り出し金を減額した。

賛成全員で可決

◆下水道事業特別会計補正予算

賛成全員で可決

◆ご意見・ご感想をお寄せください◆

議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお待ちしています。

〒342-8501
吉川市吉川二丁目1番地1
吉川市役所　議会事務局
TEL&FAX（982）9421

ホームページ

ぜひ、ご覧ください！

吉川市議会　検索

意見書の全文は市のホームページでご覧いただけます。

本会議の会議録や議会活動なども掲載しています。

ぜひ、ご覧ください。